

## アンケート集計結果

参加者（PTA：50名 KOYOクラブ・顧問：45名）

### 【在校生保護者】

- 鈴木さん自身のお話が入る事で、より伝わりました。過去は消せないのもそれ以上のプラスを増やしたいです。参加して本当に良かったです。
- 分かりやすい、共感できる、気付きがあった。最後の「私にもできていないけど」の部分は本当に共感出来ました。
- 「ジョブコーチ支援」について分からなかったのも、お話を聞くことができて良かった。
- 実際の例を挙げられてのお話で、とても分かりやすかったです。
- 問題が起きた時に考え、よい結果になるようにすれば良いと思う。
- 家族の中だけで抱え込まない等、本人の努力だけでなく親も変わる必要があるということは考えてもいなかったことで、大変参考になりました。
- 就労を目前に控え、大変貴重なお話を伺えました。ありがとうございました。
- 働く側と雇う側と親の立場、それぞれの立場に立ったお話で、とても分かりやすく共感できました。お話の通りの社会が出来たら、どんな人でも暮らしやすくなるだろうと思います。
- 子どもの就労に向けてとても勉強になりました。ありがとうございました。参加して良かったです。
- 分かりやすく話をさせていただいて良かったです。また時間があつたら来ていただきたいです。いろいろなタイプの生徒さんたちの話をもっと聞かせていただきたいです。
- 就労した際にはジョブコーチの支援も是非お願いしたいです。
- 具体例をあげて説明をさせていただき、ありがとうございました。ジョブコーチの役割もよくわかりました。とても勉強になりました。
- 現場で実践されている方のお話を目の当たりにしました。親としての役割がhow toを指導する雰囲気我が家にはありませんでした。学校・職場・地域を家庭の役割と意義を意識していきたいと思います。
- ジョブコーチ支援のしくみが良く分かりました。
- これから就職を考えるに当たり、参考になりました。ありがとうございました。
- 資料が分かりやすく家でまたゆっくり読みたいです。信頼できる支援者に出会うことも左右するのかな…と感じます。目からウロコのお話がたくさん聞けました。ありがとうございました。
- 地域に頼る重要性和、そういう場所を探しておくことが大切だと思いました。
- 現在高3の息子がおりますが、後期実習が来月から始まるにあたり、果たしてその実習先で働くことができるのか不安に思っております。ジョブコーチのような方がいらして前期ではお世話になったのですがかなり厳しく、後期はステップアップできれば契約して頂けるようです。鈴木先生のジョブコーチとしての配慮、気配りを聞き、親としてフォローしながら来年就労できるよう親子で努力して行こうと思いました。ありがとうございました。
- 事例があり分かりやすかったです。
- これから就労するにあたり、とても参考になりました。とても具体的で分かりやすく話してい

ただ勉強になりました。

- まだ具体的に実感を持って感じられてはいないのですが、子どもが働く、社会に出て行けば今までになかった多くの経験をしていくと思います。その時にそれぞれの意味を立ち止まって考え、何か対処法はあると視野を広く向かっていけるに違いないと思えました。働くって大切なことだと改めて思いました。
- 親の私も勉強になりました。
- これからの子どもへの接し方に役立った。
- くらしえんの活動の話、参考になりました。
- ショウタ君がバッグを壊した時のパワーポイントを使った対応とても感心しました。ジョブコーチありがたいです。「支え」の大切さを感じました。

### 【卒業生保護者他】

- 実話も交えたお話で参考になりました。また第二弾期待しています。
- 自分の立ち位置で、提示された通りにして来たところがあり、これで良かったのだと思えるところがあって良かった(自分にごほうびです)。これからの方向性について、親としての考え方、本人のサポートなど参考になりました。
- 具体的な事例があり分かりやすかったです。ありがとうございました。
- 卒業時、先生のようなジョブコーチに巡り会えたら、子どもの人生が少し変わっていたかなと思いました。今回の研修は実体験を交えながらなので、とても分かりやすく今後の参考にしたいと思います。
- ジョブコーチの仕事の内容が良く分かった。会社とのパイプ役をして下さることを知った。
- 分かりやすいお話でとても良かったです。
- 具体例も聞いて、日々の生活、子どもの障害枠での雇用について、参考になることが多かった。
- 机上の空論だけでなく実体験に基づいた貴重なお話をありがとうございました。作業のコード化・カード化、職場の能力アップのために障害のある方の雇用はとても大きなヒントがあると思った。今後、先見の目のある企業が障害のある方を法的な義務付けではなく、その能力・存在に価値を見出すと思います。
- プラスの経験を多く体感できることの大事さを実感できた。
- ジョブコーチとしての経験に基づいた貴重なお話を聞いて勉強になりました。
- 今年4月より就労し毎日仕事へ出かけております。やはり親だけでは難しく、学校や地域に助けられたと思います。地域作りは本当に大切だと思います。自分自身も地域の一員として出来ることを考えていきたいです。先生の講話に涙が出そうでした。自分の気持ちにグサッとささりました。大変感激しました。
- 親としての支援の在り方を考えさせられました。家庭は指導の場ではない、ホッと疲れをいやす場。
- 働き続けるためには本人というよりも、周囲の支援が大切だと思った。親とセットではなく、なるべくグループホーム等の自立も必要だと思った。
- 流山の卒業生レベルの具体的な話が聞きたかった。働くことの大切さや厳しさはよく分かり良かったです。保護者向けのアドバイス中心だともっと良かったです。
- 働くということは本人の努力と会社の人々の理解が大切。そして家族の協力が大事だとつくづく思いました。

- まさにジョブコーチの鏡ですね。20才の壁はかなり難しい問題ですね。
- 仕事が出来ないのは本人の問題ではなく、受け入れる側の問題であるとの話に気持ちが明るくなりました。
- ジョブコーチの仕事がよく分かりました。一人ひとり違う障害に対して向き合っていける親でありたいと思います。
- 鈴木先生ご自身も障害のある方の親であり、実際のジョブコーチの仕事を見られてご苦労がわかり、とても良かったです。
- ジョブコーチのお仕事の中で大事にされていることが障害者の職場に必要なこと、直結していると思いました。
- 他の方のエピソード部から学ぶことがたくさんありました（親は自分のうちのケースしか基本分かりませんから）。もちろん前半も大切なことですが…
- このような方が身近にいて欲しいと思った。親身さが全く違うし、出会ったことがない。
- 具体的にそうだなと思うことがありました。
- 今まで知らなかったことが知れた。重度の子もがんばって、まわりの人や会社の人をがんばらせて、働き続けている話を聞いて心に衝撃を受けました。
- 子どもが「出来るだけ長く働き続ける」のは私たちの願いです。しかし本人の努力・家族のサポートだけでは限界があると伺い、その子のことを深く理解し「その子のための支援」をしてもらえる環境…鈴木さんのような方が身近にはいない…と嘆いていても仕方ないので、今日いただいた教えを生かした生活をしていこうと思います。ありがとうございました。